



第 20 号 平成 23 年 10 月 7 日

北越高等学校 1 学年便り

STAY HUNGRY STAY FOOLISH

アップルの創業者で CEO（社長）だったスティーブ・ジョブズ氏が亡くなった。

彼がいなかったら、未だにコンピュータは家の中には入らず、音楽のダウンロードもかなわず、今爆発的に広がっているスマートフォンもありえなかった。それほど、現代の通信テクノロジーで画期的な役割を果たしたスーパーマンだ。遊び心に満ちたコンピュータは、現代において芸術と技術を融合させた、として最高の賛辞を与えられている。なぜ彼がそのような偉業を成し遂げられたのか、誰も思いつかないような発想を次々と商品化し、世界を変えていったのか、そのことについて、彼は 2005 年にアメリカ、スタンフォード大学で行ったスピーチで、こんな風に話している。

彼は大学を中退している。食べ物にも困っていたある時、近くの大学に入ると、そこはたまたま装飾文字で全米最高水準の教育を行っているところだった。その面白さに魅せられた彼は、そのクラスに潜り込んで、字体やフォントについて深く学び、それが 10 年後にマッキントッシュコンピュータを作成している時に生かされたという。

彼は言う。

「先を読んで、点と点をつなぐことはできない。後から振り返って、はじめてつなぐことができる。したがって、あなた方は、点と点が将来どこかでつながると信じていなければならない。自分の心が動いていく場所、興味が惹かれていく所に忠実であること。もし、まだそれが見つからない人は、探し続けること (Keep looking!)。決して一つの場所にとどまっていたてはならない (Do not settle!)。」

そう、将来は見えない。見えないけれど、今、自分が夢中になれること、探究していること、それが必ず将来どこかにつながる。そう信じて、今を生きるべきだ。

だから、「ラクな方」という選択はありえない。ちょっと困難だけどそこに心惹かれる、という場所、そういう何か、を持っていてほしい。見つけてほしい。

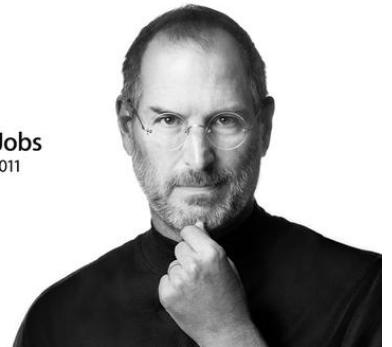
今回の見出しの英語「Stay hungry Stay foolish」は、スティーブの座右（ざゆう）の銘だそうだ。「いつも食欲であれ、いつも愚かであれ！」前半はわかるよね。何かを求めていること。それは「なんかおもしろえことねえかな」という受け身的なものではなく、まさにハングリーな状態、自ら何かを探し、求め、あさっている状態だ。後半はどういうことだろう。たぶん、「何かを得たとしても、それに甘んじるな、すぐにまたリセットして、ゼロから、無知の状態から新たなアイディアを模索しろ」ということだと思う。小さな成功に浮かれてとどまっていれば、人は斬新さを失う。

進路について、将来について、迷っている者も多いだろう。

スティーブの言葉は、そういう君に、とても勇気と希望を与えるものだと思う。

そして、僕自身にも、強く響いてくる言葉だ。

Steve Jobs
1955-2011



☆2 学期 中間考査 間近！

3 連休で最低 21 単位の学習をやり遂げよう

中間考査が間近に迫っている。部活動も中断もしくは短縮に入った。ラストスパートに入って加速しているだろうか。

スタートダッシュに成功したのに、「ハングリーな」状態を失ってしまっている者、ちょっとした成功に甘んじて、模試の成績が伸びない者、再加速するチャンスだ。

一方、1 学期で目標に大きく遅れをとってしまった者、1 学期の成績で赤点をとってしまった者は、這い上がるチャンスだ。

チャンスを目の前にして、人は二つに分かれる。チャンスをものにする人間と、チャンスがありながら逃してしまう人間だ。

3 周で決まるレース。2 周目の重要さは言わなくてもわかるだろう。

明日から 3 連休だ。この 3 連休をどう過ごすかで勝者となつてなりたい自分へのロードを進むか、敗者になって底辺への階段を下り続けるか、君次第なのだ。

毎日、君たちは 6～7 時間の授業を受けている。だとすれば、1 時間を 50 分として、毎日 7 時間の時間割を組んでみよう。合計 21 単位、集中して取り組んでいけば、必ず成果は出る。

なりたい自分へ！ 頑張れ！

☆ 読書の秋（第 3 弾）

◎馬場幸也 先生（5 組担任）

○朝読書で読んだ本 『適当な日本語』 金田一秀穂 / マスキー新書

日本語や漢字に興味がある人には特におもしろい。ことばのまちがいや漢字の使い分けなど知らなかったことがたくさん出てきます。

○おススメの本 『天国までの百マイル』 浅田次郎

男の人生再生の物語。じんとくる。

◎阿部優子 先生（6 組担任）

○朝読書で読んだ本 『グッドラック』 アレックス・ロビラ他 / ポプラ社

運と幸運は全く別のものである。幸運は誰でも自分の手で作り出すことができ、手にした人に必ず幸せを運んでくれる。あなたも今すぐ、幸運の下ごしらえを始めませんか。

○おススメの本 『夢をつかむ イチロー 262 のメッセージ』

「夢をつかむ イチロー 262 のメッセージ」編集委員会 / ぴあ株式会社

262 のメッセージの 1 つ 1 つが心に響きます。自分も目の前のことに捕われず、ずっと先を見据えて頑張ろうと思える一冊です。

◎今後の予定

10 日（月・祝）体育の日

12 日（水）～14 日（金）中間考査

13 日（木）1 年保護者会

15 日（土）土曜講座